類い上がれ 社会を変える みんなの力 休眠預金活用事業

就労困難者をICTで総合的に支援する

ダイバーシティ人材育成事業

- 多様な人にそれぞれの働き方を -

ICT講習説明会

2023年 8月 18日 あたつく福祉型事業協同組合





ダイバーシティ人材育成事業 ICT講習説明会 本日の予定

13:30 開場

14:00 開会

ダイバーシティ事業概要

ICT講習について

質疑応答

閉会

15:00 個別の質疑応答・相談

17:00 開場撤収



あたつく福祉型事業協同組合とは

あたつく組合は2017年に奈良県の委託を受けて設立 「優先調達共同受注窓口」の事業者に認定 現在組合員 17団体 賛助会員 13団体 福祉+IT企業+士業+運送+建築+コンサル等の専門家が参画



多様な分野の専門家集団

プロジェクトチーム体制で各事業を遂行



受注事業

協働事業

自主事業

毎週月曜日に「運営委員会」を開催

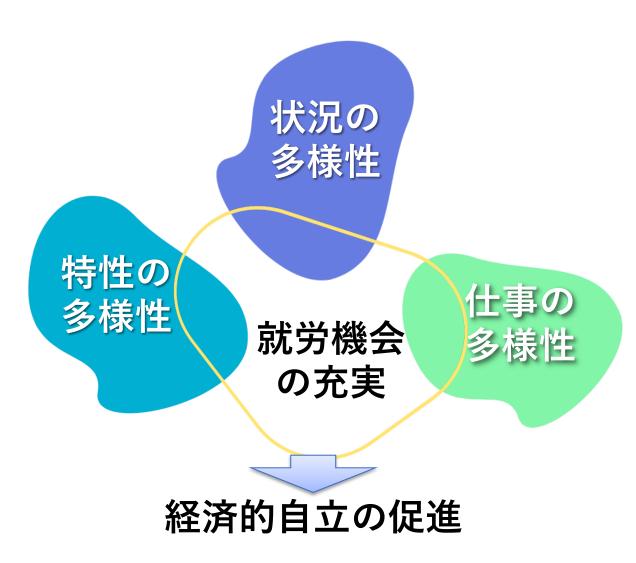
主な事業

- ・障害福祉基本計画書の立案 (生駒市・奈良市)
- ・シティプロモーション事業の受託(生駒市)
- ・授産品のECサイトの構築と運営 (奈良県)
- ・ 社宅等の草刈り作業 (近畿厚生局)
- ・老人施設の防滑事業 (王子町)
- ・アバターロボット支援事業 (大和ハウス工業)
- ・各種書類のPDF+DB登録 (大阪ガス)
- ・春日大社境内の杉を活用事業 (フェリシモほか)
- ・福祉と企業を繋ぐ「セミナー交流会」

など



ダイバーシティ人材育成事業のゴール



年齢や性別、性格、病気や症状など さまざまな特性を持つ人が

経験や経歴、生活環境など さまざまな状況において

短時間勤務やテレワークなどを含めた 多様な形態で就労する

<mark>ダイバーシティ就労</mark> =だれもが活躍できる社会

ダイバーシティ(diversity)=多様性



ダイバーシティ就労とは

・多様な人材の就労

• 人種、性別、年齢、国籍、障がいの有無など、多様な背景を持つ人材が就労する

・柔軟な働き方

• リモートワーク、時短勤務、介護休業制度など、多様な人材が働きやすい職場環境

インクルーシブな環境

• 多様な意見が尊重され、ハラスメントや差別がなく関係者全員が尊重し合える環境

ダイバーシティ就労の必要性

- 多様な就労困難状況にある人の生活の質の向上
- 労働力の確保による経済全体へのプラス効果
- 就労による社会保障の収支改善、および、制度の改善



ダイバーシティ就労で

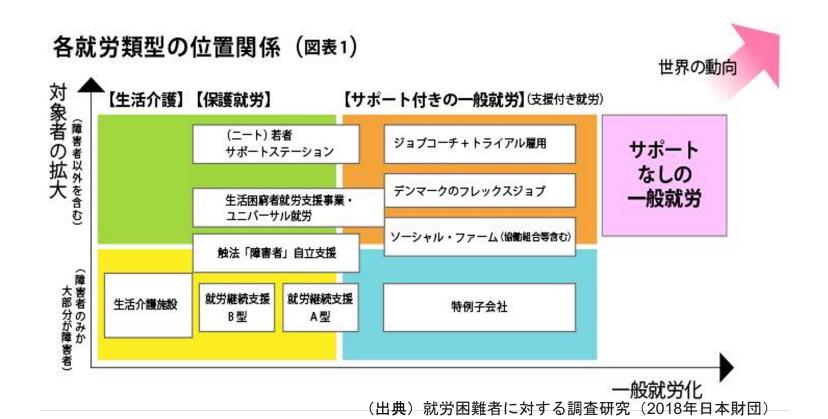
チームワークの強化 就労環境の改善 社会的貢献 を実現



ダイバーシティ就労とは

世界の動向

- 「何ができないか(ワーク・ディスアビリティ)」から、 「何ができるか(ワーカビリティ)」への転換
- 障害者以外の多様な就労困難者の受け入れ





ダイバーシティ人材育成事業の狙い

就労できない要因への対策

物理的障壁の解消(働きたい場所で働く)

・職場環境の改善:バリアフリー環境の整備

・支援具・補助技術:業務遂行に必要な支援具や補助技術など

リモートワークなどのフレキシブルな労働形態



時間的障壁の解消(働きたい時間に働く)

・フレックスタイム :勤務時間を自由に決める

・パートタイム・短時間勤務

・フリーランス :業務自体を自由に決める

社会的障壁の解消

- •就労先企業等との面談などによる偏見の解消
- •ハラスメントや差別の解消
- ・必要な支援就労先のカウンセリング





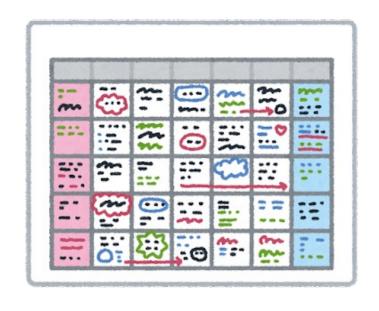
ICT講座の受講対象者

働くことに悩んでいて、 ICTを活用した仕事をしてみたい方

これまで学習の時間 や機会がなかった方 仕事の時間を一定に 一般就労以外の選択

取ることが難しい方 肢を模索している方

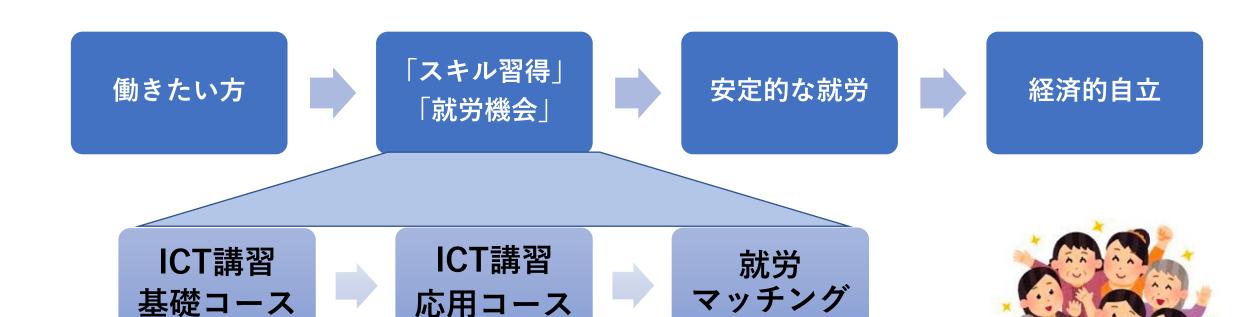








ダイバーシティ人材育成の流れ





ICT講習の構成

週に2日	:午前10時~12時30分	

コース	対象	内容
ICT基礎コース (3ヶ月)	新規受講者	社会人スキル 基本的ITスキル
ICT応用コース (3ヶ月)	基礎修了者	分野別実用的ITスキル ビジネスITスキル
リスキルコース (数回/年)	応用修了者 その他希望者	トレンドITスキル BART, ChatGPT等の 最新ツール体験

基礎コース (3ヶ月)

「報・連・相」など基本的な業務スキルに加え、 基礎的なITスキルとして、パソコンの基本的な操 作方法や、ネットリテラシーを学ぶ

応用コース (3ヶ月)

希望コースに分かれ、実際の業務内容での業務スキルを学ぶ。動画編集/アノテーションを想定。コース内でChatGPT等の最新AIツールを活用する。

リスキルコース(随時・予定)

講習就労後も身につけたスキルが陳腐化しないように、最新技術を学ぶ機会も設ける。







基礎コースカリキュラム(予定)

回	日程	テーマ	内容①	内容②
1	10/3	開校式	オリエンテーション	ツール体験
2	10/5	コンピュータ基礎①	パソコン基本操作	マウス操作
3	10/10	コンピュータ基礎②	ハードウェア	ソフトウェア
4	10/12	コンピュータ基礎③	Windows	Microsoft Office
5	10/17	インターネット基礎①	インターネットのつなぎ方	インターネットの使い方
6	10/19	ツールの使い方	PDFの使い方	オンライン会議
7	10/26	インターネットコミュニケーション	メールの使い方	メールでのコミュニケーション
8	10/31	総合演習①	インターネットを介した意志疎通	
9	11/2	インターネット基礎②	インターネット検索	検索リテラシー
1 0	11/7	インターネット基礎③	Webサイトの活用	インターネットで使えるツール
1 1	11/9	AIツール①	AIツール	ChatGPTの活用
1 2	11/14	情報リテラシー①	データ管理	著作権とライセンス
1 3	11/16	情報リテラシー②	セキュリティの考え方	個人情報の保護
1 4	11/21	表現力①	プレゼンテーションツール	ChatGPTを使った文章作成
15	11/28	総合演習②	想いを伝えるプレゼンテーション	
16	11/30	チームワーク①	感情コントロール	セルフマネジメント
17	12/5	チームワーク②	コミュニケーションタイプ	アサーティブコミュニケーション
18	12/7	AIツール②	画像生成AIツール	画像生成AIツールの活用
1 9	12/12	表現力②	画像作成	画像編集
20	12/14	チームワーク③	アイデア出し	アイデアのまとめ方
2 1	12/19	チームワーク④	課題設定の考え方	課題解決プロセス
22	12/21	総合演習③	課題解決の提案	
23	12/26	閉校式	授与式/基礎コース振り返り	応用コースの案内



ICT講習の内容:グループワーク

グループで課題解決

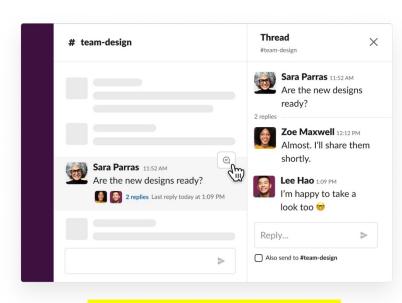
一つのテーマに対して、グループメンバー 全員で話し合い、<mark>アイデア</mark>を考える体験

コミュニケーション

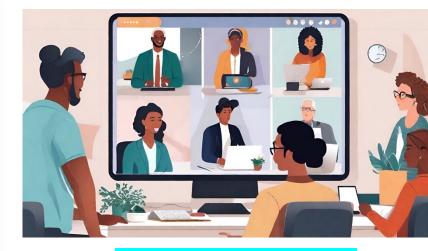
人の意見を聞き、自分の意見を伝える経験 一人ではできない<mark>チャット</mark>や<mark>Web会議</mark>など **ICT**ならではのツールの体験・実践



<mark>アイデア検討</mark> のイメージ



チャットツールSlack



Web会議のイメージ

(画像はhttps://slack.com/intl/ja-jp/help/ より引用)

∢∙))



ICT講座 ChatGPT 紹介その2

下の商品紹介の文章を、利用者がより買ってくれそうな文章に直してください。

奈良特産の奈良漬とクリーミーなクリームチーズのセット商品です。ワインや日本酒のアテ におすすめです。

T もちろんです!以下に、利用者がより購買意欲を感じるような商品紹介の文章をご提案します。 ■

☐ Stop generating





ICT講座 ChatGPT 紹介その2

奈良の伝統とクオリティが詰まった、極上の逸品をご紹介します。こちらは、奈良特産の 奈良漬と、口どけ滑らかなクリーミーなクリームチーズの贅沢なセット商品です。奈良漬 は、その独特の風味とシャキシャキとした食感が魅力で、地元の愛される逸品です。対す るクリームチーズは、そのままでも楽しめる上、奈良漬との絶妙なマリアージュが新たな美 味しさを引き出します。

特に、ワインや日本酒と一緒に楽しむことで、その風味の幅が更に広がります。シーンを選ばず、普段の食卓にも特別な時間にもピッタリの一品です。大切な方へのギフトにも最適で、その上品な味わいがきっと喜ばれることでしょう。

この機会に、奈良の伝統と洗練された味わいを、心ゆくまでご堪能ください。

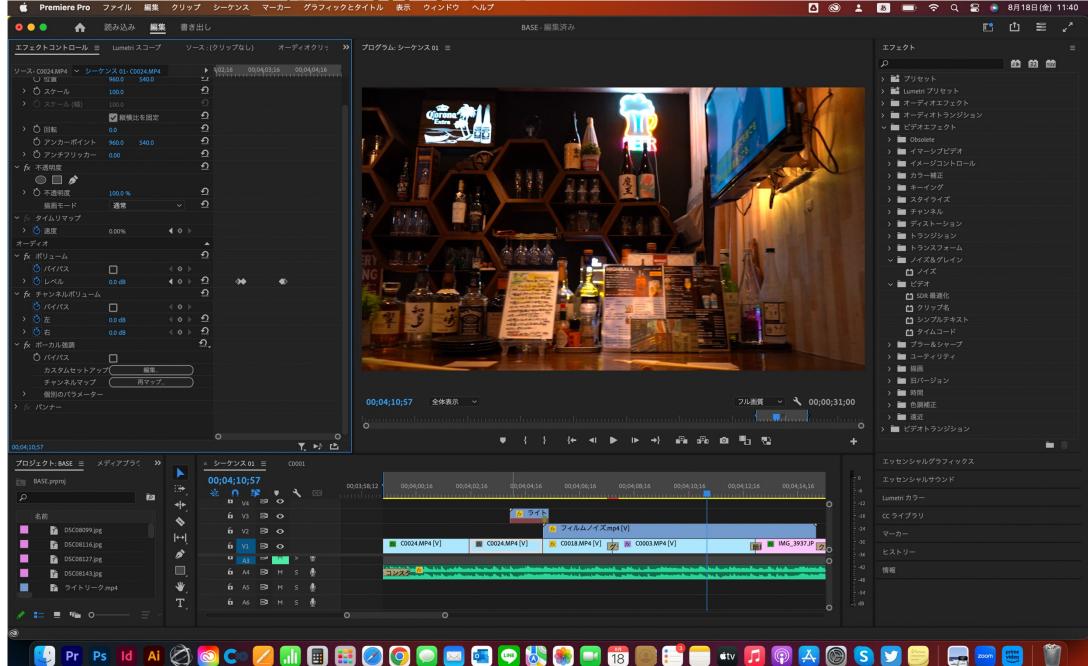
B







動画編集画面イメージ





ICT講座の流れ(一例)

10:00~	オープニング アイスブレイク
10:30~	レクチャー① ワーク①
11:00~	レクチャー② ワーク②
11:30~	レクチャー③ ワーク③
12:00~	クロージング まとめ 次回案内
12:15~	自習 個別フォロー 質疑御応答

講座の合間に休憩を挟むのでご安心ください



個人用のMicrosoft Windows11 および Microsoft Office インストール済パソコン



個別サポート体制

講座カリキュラムについて

- ・自習時間を設けて、その時間を活用して 理解が不足している受講者をフォローお よび講座の疑問点について説明を行う。
- ・個人面談と講義を通して、各個人の興味、 適性、スキル等を把握した上で、個別相 談により、個別のスキル向上策を提案
- ・より挑戦したい人には、先の目標を提案 たとえば、キーボードのタイピング速度 の向上や、ITパスポートなどの資格取得 などの目標をアドバイス

就労サポート

- ・講義の受講状況と個人面談を通して、個々人の状況や適性、スキルなどを把握して、個人のスキルや特性にあう職業や就労形態 キャリアパスを一緒に見つけていく
- ・就労に向けて職場見学や実態に近い就労体 験などが行えるように調整を行う
- ・就労可能性がある企業様とコンタクトし、 受講生の特徴にあった業務・就労形態のマッチングのサポートを実施



働き方の選択肢

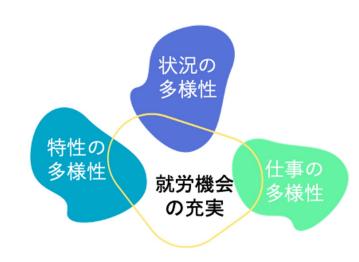
リモートワーク、短時間勤務など多様な働き方を目指して

・一般企業への就職 正社員 パートタイム(含む短時間労働)

法人と**雇用契約**を結び、仕事をする

・就職しない働き方 フリーランス (個人事業主) など

法人等と**請負契約**などを結び、仕事をする







就労イメージ1アノテーション

アノテーションは、機械学習用に人間がラベル付けなどの「データ加工」を行うこと。

画像認識において、画像の中にどの部分に何があるかを、人間が目で見てラベルを付けます。

アノテーションは、作業を行う時間の制約がないため、 子育てや介護、自身の傷病治療の合間に作業できます。 テレワーク環境があれば、入院中のベット上でも可能。







就労イメージ2動画編集

セミナーやICT講習などを撮影した動画を用いて、 記録用アーカイブ動画を作成する。

撮影した動画はクラウドストレージに保存し、 就労者は、自宅など任意の場所からネットワーク と通じてアクセスし作業を行うことができる。





共通機材でライブ配信も可能



スケジュール概要

6月 プロジェクト始動

ICT講習カリキュラム設計

8月 ICT講習 受講生募集開始

8月 受講者向け説明会 8,18

9月

ICT講座開講準備:受講者決定

10月 ICT講習基礎コース開講

専門コースの分野選択

ICT講習応用コース開講

24Q1 就労支援面談・就労体験

2402 応用コース修了生の就労

2025 ダイバーシティ事業の継続

ダイバーシティ就労社会の実現 将来



ICT講座申し込みの流れ

説明会(いまここ)

⇒ 申し込み ⇒ 個別面談 ⇒ 合否連絡

ICT講座開始







最後に

AI技術などのICTの力をトリガーにして、 働きたい方が多様な就労ができる仕組みを作り、 誰もが「働く」ことを諦めない社会を目指す

ダイバーシティ人材育成事業の取り組みとして、 ICT講習の参加者を募集中です。 右のQRコードから申し込みください。



